

# 宗谷

## 宗谷教職員組合

「宗谷情報」No. 4 平成27年6月24日発行  
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館  
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484  
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



# 『先生、私たちが戦争に行かなくちゃならないの？』 教え子を再び戦場に送らないために…』

二〇一四年七月、安倍内閣が集団的自衛権の行使容認の閣議決定がされました。見出しの言葉は憲法解釈の変更がされた瞬間に、小学生が実際に教師に問いかけたものです。

戦後の長い間、「自衛のための武力行使」の要件は「我が国に対する武力攻撃が発生した場合」というのが政府の解釈でした。そしてこの自衛のための武力行使は戦後一度も行われていません。

昨年七月の集団的自衛権の行使を容認する閣議決定以後、政府は自衛のための武力行使のための三要件を変

更し、今国会に「平和安全法制一括法案」を提出しました。「平和安全法制一括法案」はそれまで平和であった日本を戦争に導く法案であり、積極的に自衛隊が海外で活動できるようにする「積極的戦争主義」そのものです。

日本が直接武力により攻撃を受けた場合に限らず、アメリカ軍が攻撃されている場合や海外での紛争に際して「平和と安全」を実現するために自衛隊の武力を活用しようとするものです。政府は、国民の生活に影響はない、国民が徴兵されることはないと言っています。しかし、他国の戦争に協

力した時点で相手国にとっては敵国であり、当然、武力攻撃の対象になります。日本が戦場になった場合は、政府は民間に無条件に施設や物資を強制摂取ができます。法案が成立した場合、自衛官はそのまま任官をし続けるのでしょうか？

殺し殺される可能性が有る場に行き行く人間はいません。これまで守り続けていた憲法すらも変えようとしている政府の言葉は当てにはなりません。

六月四日の衆院憲法審査会に招致された三人の憲法学者がそろって、「集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法案は違憲」と表明しています。報道ステーションが、憲法判例百選の執筆者である憲法学者

一九八人にアンケートを取った中で九割の学者が違憲だとしています(回答率は約七五%)。それでも、政府は詭弁を弄して、それを無視しています。

みなさんのまわりで、こうした話題は広まっていますか。放っておけば着実に進められ手のつけられない事になってしまいかもしれません。

私たちは教師として大人として、未来の日本を担う子どもたちに冒頭のような不安を抱くような思いをさせないために、負の財産を残さないように、今こそ最北の地からこの『戦争法案』に『NO!』という声をあげ、廃案に持ち込みましょう。(Taka)

## 宗谷教組として 取り組みました!

### STOP! 「戦争法案」稚内大作戦



六月六日、道教組執行部と連携し、宗谷教組本部・稚内支部役員が稚内市内で街頭宣伝。道行く車から手を振ってくれるなど、運動の広がりを実感しました。

### 戦争をさせない北海道大集会



六月二十日、札幌に五五〇〇人が集い、大通から中島公園までパレードしました。宗谷から三名で参加。東京・札幌ではこのほかに様々な動きが作られています。

## みんなで取り組む 平和を守る取り組み

### 今すぐできる 「教職員投票(ひとこと要求書)」

いくつかの職場の様子を伺うと、「忙しすぎて、話題にすらならない」とか「報道を見ていても、話題の変化がめまぐるしくてついていけない」とかという声が聞こえてきます。

そうした中で、職場の中で話題にすることや、声を束ねて国会に要求をするための「全国教職員投票(ひとこと要求書)」に取り組みましょう。

職員室の隣の先生に…

学年部会の打合せで…

全教職員のみなさんと…

憲法9条をいかに、平和を広げる国を子どもたちに手渡したいって思わない?



ぜひ、あなたのまわりで取り組みましょう!

## リレーエッセイ「言の葉」

『組織拡大。』組合に入ったばかりの頃の私は、この言葉が正直好きではなかった。「世界の三大宗教は勧誘なんてしない！」なんて理屈をこね、「活動が楽しそうに感じれば、自然と人は来るものだ！」というもっともらしいことを言いながら、積極的なお誘い活動など自分には関係ないものだと思っていた。

私がいる礼文町は比較的組合員の数が多い。組合に入るきっかけは様々だ。「職場づくり、仲間づくりに貢献したいと思った！」と言う人もいれば、「周りの人が入っていたから」「先輩方に声をかけられたから」などという理由で入ってくれた人もいます。実際に署名や会議、ことによっては地域に入っている対話活動など、大変なことは増える。そのことをわかっているため、お誘いをする側もついつい後回しにしてしまったり、二の足を踏んでしまいがちになるのも、よくあることだと思う。

ただ、礼文町の最近の青年部の勢いには目を見張るものがある。日々多忙な中で、若者の集いの準備という大仕事をこなしている。大変なはずだけど、楽しそうにやっているように見える。そんな姿を見てみると、「あの時、声をかけてよかったな。」と思うこともある。活躍できる場所があると輝くことができるのは、大人も子どもも同じなのだろう。

『組織拡大。』最近では「声をかける」という「やさしさ」もあるのではないだろうか、と思うようになってきた。

【宗谷教組本部／古川 正史】

# もし、組合がなかったら……

7月4日 全分会長会議  
宗谷の教育と組合づくりを考える学習交流集会で考え合おう

おもて面でも触れたように「戦争法案」に対する漠然とした思い、管内教育に目をやると「へき地級地」のゆくえ、民主的なリーダーの生み出し、それぞれの職場の忙しさなど課題は山積みです。そんな中で、今年度末から三年間で、宗谷管内の校長先生は半分が退職するといわれています。

節目となり、先生方が力合わせをして乗り越えてきたといえます。こうした節目だからこそ、宗谷の教育と、宗谷教組の組合づくりを考える「全分会長会議」を行うことにしました。分会長だけでなく、組合づくりについて広く考え合いたいみなさんに、参加を呼び掛けることにしました。組織拡大で組合加入を呼びかけた際に「職場があつたかいから、組合に入

日時 7月4日(土)11:15~14:30

場所 稚内北星学園大学

- 参加対象
- ①各支部執行部、
  - ②各分会から1名
  - ③「民主的なリーダー」について考えたい全世代の方
  - ④組合づくりについて考え合いたい方

## 7月25日 管内若者の集い in 礼文



管内の若者を魅了してやまない若者の集いが帰ってきました。今年の開催地は前回大成功を博した礼文町。大堀実行委員長を中心に礼文支部では着々と準備が進んでいます。

13時に集合、開会式をしてみんなでうむき体験。その後、3時間の礼文満喫ツアーです。3つのコースに分かれます。1つめはハイキングコース。予定している礼文岳コースのゴールには360度パノラマの景色が氷魚広がりしています。2つめのコースはドライブコース。スカイ岬やスコトン岬など、最北の島の絶景を見に行きましょう。3つめは釣りコース。焼き肉交流会のメニューに1品加えてください！そして17:30からは大交流会！おいしい食べ物とお酒で交流が広がること間違いなし。♪友だち何人できるかな♪そして寝袋持参でみんなで泊まりましょう！

4年前のこの管内若者の集いに参加して、今では宗谷という広い地域でそれぞれに奮闘している先生がたくさんいます。忙しい毎日。教育のこと、組合のこと、社会のことなど普段話題に上がらないことをじっくり語り合いましょう。ぜひ、大勢で参加しましょう！(Tam)

つても入らなくても同じです」と言われることがあります。はたして、これって本当なのでしょう。もし、宗谷教組がなくなったら、どんな影響があるのでしょうか。また、管理職の先生になることを「民主的なリーダーの生み出し」と言っていますが、「民主的なリーダー」ってどんな人のことを言うのでしょうか。

こうして、日々の組合活動の中で当たり前と感じていることにスポットを当て、みんなで宗谷教組の組合づくりについて考える1日が全分会長会議「宗谷の教育と組合づくりを考える学習交流集会」です。たくさんの方の参加をお待ちしています。(Tami)

## 夏、学びに出かけよう！

今年の学び愛フェスタでお世話になったみなさんをはじめとする「民教(民間教育研究団体)」の夏の学習会があちこちで行われます。道教委の後援がついているものの中には、管理職の先生の理解が得られれば「研修」扱いで処理できるものもあります。ぜひ、夏の学びの予定を立ててみませんか？

### ▼第50回自然科学教育研究全道大会三笠大会

2015年7月28日~30日/三笠市立三笠中学校  
☆テーマ：自然の法則性を正しく豊かにとらえる楽しい授業の創造

### ▼第114回言語障害臨床研修会

2015年8月6日~7日/札幌市教育文化会館  
言語・難聴教育の基礎基本について

### ▼第55回全道数学教育研究大会

2015年7月28日(火)~29日(水)/札幌市立清田緑小学校  
大会記念講演 伊藤潤一「子どもとつくる 数学の世界」



今年、先生が足りていない学校がいくつもあります。事情は様々、欠員が生まれてしまっているのです。職場の様子を聞くと、やっぱり余裕がなくなってしまうがちだとか…。無理もないと思います。

「へき地級地」の取り組みをしながら、こうした学校のことを考えると、やっぱり宗谷はへき地なんですよ。人材確保でこんなに困っているなんて…。

こうした日常の苦悩を、少しでも制度改善につなげていきたいですね。だからこそ、みんなで運動を広めていきたいと思うのです。1学期もゴールが見え始めています。元気に夏を迎えましょう。